

— 市政を問う — 一般質問

豊岡地区の諸事業

無所属 鈴木昭二 議員

合併後の豊岡地区における諸事業は、諸般の事情を抱える中、積極的に進められてきた。合併4年目を迎えるに当たり、次の点を伺う。

豊岡総合センター

質問 新市として豊岡総合センターの整備に関する検討はされているか。



豊岡総合センター
研修・宿泊棟の管理運営の検討を、18年度は合併特例債活用

回答 17年度に1期整備として位置づけられている豊岡荘等を有する区域の再整備に視点を置き、施設構想の基礎資料とするため、利用状況の分析等を内容とした基本計画を策定している。基本的には合併後10年以内で整備することとしているが、新市全体の施設整備のあ

り方等、検討課題もあり、20年度以降、さらなる検討を進めていく。

大藤下神増線

質問 大藤下神増線は、いまだルートさえも決定されていない。現状と今後のスケジュールと計画の内容は。

回答 現ルートでの事業実施は安全性などの問題があり大

市民サービス向上施策 遠州灘海岸の侵食対策

無所属 大庭隆一 議員

市民サービス

質問 20年4月から指定管理者が市内77施設の管理運営を始める。体育施設や福祉施設等の利用向上策は。

回答 市で利用者アンケートを実施し、利用者が望むニーズを指定管理者の管理運営に反映させ、さらなるサービス

変厳しいため、19年度は検討区域を拡大し、ルートの再検討を実施してきた。20年度はこの成果をもとに関係機関と協議を重ね、27年度の完成を目標に事業進捗に努めていく。

天竜斎場

質問 豊岡地域限定での浜松市天竜斎場の利用は、合併時に5年間の期限とされたが、合併当初から期間延長を望む市民の声がある。浜松市と協議の場を持つ考えはあるか。

回答 あくまでも21年度までに限ることが原則と考えるが、浜松市の今後の施設運営等の方針も踏まえ、意向を確認しながら慎重に検討していきたい。

向上につなげたい。

質問 指定管理者制度の成果は、予算にどう反映されたか。

回答 19年度と比較し、20年度予算で1億4千万円の経費節減効果が見込まれている。
質問 地域の核である公民館は、設置経緯や歴史の違いがあり、活動や併設体育館等の

有無の格差がある。今後どのように一体化していくのか。

回答 今後の検討課題と受けとめ、格差解消等に向け、公民館のあり方を検討していきたい。

質問 同じ地域スポーツ分野でありながら、社会体育と生涯学習で使用料の扱いに差がある。どう整合していくか。

回答 それぞれの施設の役割や位置づけ、設置経緯等を考慮しながら、類似施設の使用料をどう設定すべきか、総合的に整理・研究したい。

海岸侵食

質問 台風たびに防潮堤が壊れており、先手を打った恒

市長の政治姿勢／安全・安心のまちづくり 医療制度と健康診査

日本共産党 稲垣あや子 議員

市長の姿勢

質問 ふるさと先生制度の完全実施まであと2学年を残している。どう考えているか。

回答 立ちどまって客観的に効果を検証していく作業は、予算の有効活用の観点からどうしても必要と認識している。全国的な傾向としては特別支援教育を重視する方向で

久対策が必要である。大災害を引き起こす前に根本的対策を国・県へ強く要望し、市民の安全・安心を確保すべきである。対策の強化を。

回答 早急に



遠州灘海岸

を県に要望していく。海岸侵食に対する恒久的取り組みとしては、遠州灘沿岸保全対策促進期成同盟会を通じて、広域的対策事業の実施を関係機関へ強く要望していく。

はないかという意味も含め、教育委員会で検証していた。きた。総合的でバランスの取れた人づくりの充実を、今後とも図っていきたい。

質問 たび重なる市職員の酒気帯び運転等、行政のリーダーとしての決意は。
回答 厳しい指摘を真摯に受けとめて対応していかなくて

はならないと認識する。組織としての一体感の醸成と綱紀粛正に努めたい。

安全・安心

【質問】 放課後こども教室導入は、放課後児童クラブの縮小がねらいといわれるがどうか。

【答弁】 そういう意図や方向性は聞いたことがない。

【質問】 食の安全のため、学校給食に地場産物を多く取り入れるべきである。対応は。

【答弁】 現在、米はすべて磐田産であり、エビイモなどの地元農産物も、なるべく多く献立に取り入れるよう、引き続き努力していく。

地震防災対策／子育て支援
農漁業・中小業者・商店街対策

日本共産党 高梨俊弘 議員

地震対策

【質問】 耐震化における木造住宅の課題と公共施設の現状は。

【答弁】 木造住宅は所有者の取り組みが重要で、普及啓発が課題である。公共施設の耐震化率は、20年3月末で70・5%の見込みであり、残りの建築物は優先順位をつけ、計画的に耐震対策を実施して



耐震建築物

【質問】 災害イメージトレーニング（目黒メソッド）の活用を。

【答弁】 家庭内の防災意識の向上に役立つと考えられ、活用に向けた調査研究を進めたい。

子育て支援

【質問】 子供の医療費助成を拡充すべきである。見解は。

【質問】 豊田町駅の安心確保のため、駅員増員の要請を。

【答弁】 人員の増をJR東海に要請していく。



豊田町駅窓口

健康診査

【質問】 4月から健康診査への市の助成が減額となるが、受診率向上のためにも減らすべきでない。見解は。

【答弁】 見直しは、健診別の公費負担の均衡を図り、受診者の不公平感が生じないように配慮したものである。

【答弁】 子育て支援の重要な一つの選択肢であると認識しているが、市独自の助成拡大は、現段階では考えていない。

【質問】 放課後児童クラブの対象児童拡大に対する見解は。

【答弁】 今後も年齢枠の拡大等、問題検証を行いながら、できることから実施していきたい。

中小業者等

【質問】 原油価格高騰による市内の農漁業、中小業者の経営実態と対策は。

【答弁】 事業者には大きな影響を及ぼしているため、補助金活用に向けた情報提供や相談等の支援、要件を緩和した中小企業向けの融資に対する利子補給の支援を実施している。関係機関と連携のもと、引き続き対応に努めたい。

【質問】 駅前商店街の活性化と

市税及び使用料の収納率向上

無所属 早川勝次 議員

【質問】 税源移譲に伴い、自治体の徴税能力などが問われる時代がきている。滞納削減に対する意識と取り組みは。

【答弁】 税の公平・公正性を保つため、市長はじめ幹部職員が率先して督促業務に赴くなど、収納率向上に一丸となつて取り組んでいきたい。

【質問】 一定額以上を滞納している市税や使用料などを一元徴収する、管理部門を新設する考えは。

【答弁】 設置は現在考えていないが、効果等も検証し、今後検討していく。

【答弁】 事業者には大きな影響を及ぼしているため、補助金活用に向けた情報提供や相談等の支援、要件を緩和した中小企業向けの融資に対する利子補給の支援を実施している。関係機関と連携のもと、引き続き対応に努めたい。

【質問】 空き店舗対策の現状は。

【答弁】 これまで商店会等と連携し、イベント支援や空き店舗を活用したにぎわいづくりを図ってきた。19年度から空き店舗を活用して出店する事業者に対して、店舗改装費や家賃を補助する事業にも取り組んでいる。今後も中心市街地の活性化に努めていきたい。

【質問】 19年度の不納欠損の見通しと課題は。

【答弁】 19年度分は確定していないが、18年度の状況は、欠損総額は約9、396万円、対象人員は1、368人だった。行方不明者の増加が著しく、対応に苦慮している。

【質問】 20年4月から静岡地方税滞納整理機構がスタートする。期待する徴収効果は。

【答弁】 今後、機構の業務実績とあわせ、機構への移管を危惧する方が自主納付するものと推測している。



磐田市（掛塚地区）の景観形成 市内4商工会の合併支援

無所属 岡 實 議員

景観形成

質問 磐田市の景観形成の今後の進め方は。

答弁 20年度からの2年間で、新磐田市の全市的な視点で景観形成ガイドプランを策定していきたい。このプランをもとに市内各地で景観に配慮したまちづくりを実施したい。



貴船神社（掛塚地区）

答弁 19年度は観光振興ビジョンに基づき、交流人口の増加に努めている。掛塚地区の具体策として、町並み案内処の設置や南部周遊コースの設定等に取り組んでいる。今後も観光協会等と連携を図り、掛塚地区をはじめ、市全体へ周遊・滞在してもらうような仕組みづくりを通して、地域の活性化に努めていく。

商工会の合併

質問 市内4商工会の合併について、市の考えは。

答弁 組織体制強化等により支援等の充実が図られ、さらなる産業振興の推進と発展につながることを期待している。
質問 合併支援の要請があった場合の対応は。

答弁 経費については県の補助制度があるので、商工会の要望を確認し、できる限りの支援をしたい。また、事務の円滑な推進等も、商工会と連携を図り支援していきたい。

していきたい。

質問 お年寄りなど、移動に不安を持つ人に電動スクーター等を貸し出し、自由な外出を支援するタウンモビリティについて、当局の考えは。

答弁 交通弱者の移動手段の確保とともに、バリアフリー化など公共交通の補完的な福祉施策として、研究課題ととらえ、情報収集に努めたい。



質問 母子家庭等の生活状況調査を行い、母子家庭等自立促進計画を策定し、総合的な施策展開を図る考えは。

答弁 各学校の全児童生徒を対象に、携帯メールやインターネット掲示板のいじめ実態調査を行っている。いじめも含め調査を行っている。

行政課題／福祉 教育関連課題

公明党 小野泰弘 議員

行政課題

質問 道路冠水による通行どめ情報を、市の携帯サイト等により情報提供する考えは。

答弁 課題が多く、携帯電話を活用した情報提供は困難と考える。検討課題としたい。
質問 市の広報に動画共有サイトの「YouTube」を活用する考えは。

答弁 動画と音声による情報

福祉

福祉の諸問題／脳脊髄液減少症への理解 新型インフルエンザ対策

公明党 山際今子 議員

質問 障害者の雇用促進のため、ジョブコーチの活用をどのように考えているか。

答弁 障害のある方に対し、職場にあった専門的な指導を、また、事業所へも障害特性に配慮した指導方法の助言等を行っている。定着指導について特に強化していきたい。

質問 里帰り出産を希望し、県外で妊婦健診を受ける方に

策展開を図る考えは。
答弁 児童扶養手当の現況の届出の際に、母子家庭の生活状況等の調査を行い施策につなげたい。計画策定は県内の動向等も考慮し検討したい。

教育

質問 携帯メールやインターネット掲示板のいじめ実態調査を行っているか。

答弁 各学校の全児童生徒を対象に、携帯メールやインターネット掲示板のいじめ実態調査を行っている。

に対し、費用を助成できないか。

答弁 いろいろな事例等を調べ、検討していきたい。

質問 名簿作成など、災害時要援護者の支援体制の現状は。

答弁 台帳作成が終了している自治会は36・2%である。関係者への援助等を積極的にを行い、早期に支援体制が完了するよう努めていく。

脳脊髄液減少症

質問 事故等がきっかけで髄

液がもれ、頭痛やめまいなどの症状が複合的に起こる脳脊髄液減少症について、学校現場での周知とその対応は。

【答弁】 国からの文書を、市内小中学校等に周知するよう通知した。事故が発生し、頭痛等の症状が見られる場合には、この疾患の可能性も念頭に置き医療機関等へ受診するなど

の指導をしていく。
【質問】 養鶏農家等に対する鳥インフルエンザ感染予防対策の取り組みは。
【答弁】 飼養衛生管理基準の遵守や野鳥侵入防止などの防疫体制の指導を行っている。
【質問】 新型インフルエンザに対し、市民の不安解消や正しい

の知識を周知するためには的確な情報提供が重要になる。情報提供の方策は。

【答弁】 市単独の対応は難しいので、県と連携を進め、広報等を通じて周知を図りたい。

実の証明にどのように協力するのか。
【答弁】 記録が残っていないので証明はできないが、できる限り相談に乗り、状況証拠を整えることに協力したい。
【質問】 勤務先が変わった医師にも協力を願うなどの積極策についての考えは。
【答弁】 当時の医師の名簿等をそろえて準備をしている。

の指導をしていく。
【質問】 養鶏農家等に対する鳥インフルエンザ感染予防対策の取り組みは。
【答弁】 飼養衛生管理基準の遵守や野鳥侵入防止などの防疫体制の指導を行っている。
【質問】 新型インフルエンザに対し、市民の不安解消や正しい

の知識を周知するためには的確な情報提供が重要になる。情報提供の方策は。
【答弁】 市単独の対応は難しいので、県と連携を進め、広報等を通じて周知を図りたい。



外国人児童生徒の教育 C型肝炎感染被害者救済／姉妹都市交流

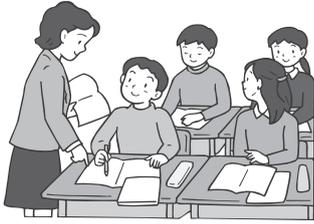
無所属 宮澤博行 議員

外国人の教育

【質問】 外国人の校費未納を解決するため、勤務先企業との協力も考えながら、学校現場の負担が軽減される方法を検討すべきではないか。

【答弁】 共生社会推進に係る企業との意見交換会で、校納金についての理解を求めめるなどの取り組みを行ってきた。今後、どのような方法があるのか、さらに研究していく。

【質問】 外国人児童生徒の学費補助と外国人学校への運営費補



【質問】 感染被害者を救済するために、市立総合病院は投与事

C型肝炎

助のため、法人市民税の超過課税等と一般会計からの繰入金による外国人教育支援特別会計を創設する考えは。
【答弁】 母国の教育を受けたいという子供たちへの側面支援はしなくてはならないかと思うが、超過課税等で賄うことについては、地域の活性化、税の公平性の観点等から、慎重に研究すべき課題である。

立総合病院は投与事

の知識を周知するためには的確な情報提供が重要になる。情報提供の方策は。
【答弁】 市単独の対応は難しいので、県と連携を進め、広報等を通じて周知を図りたい。

磐田市に課せられた諸課題 学校教育に関する事項

無所属 増田暢之 議員

諸課題

【質問】 定員適正化計画に対する見解と今後の方向性は。

【答弁】 職員数の見直しは必要不可欠な要素ととらえている。サービステラを招かないよう配慮し、少数精鋭の体制となるよう努める。

【質問】 南部救急医療機関の進捗状況の説明を。

【答弁】 南部救急医療機関選定等委員会を設置し、2月末まで提案を公募した。3月を目前に運営主体を決定した後、公的支援を検討する。

【質問】 リベール磐田市営駐車場の現状と今後の見解は。

【答弁】 当初見込みに大きく満たない利用状況の結果と反省に基づき、定期駐車場の導入や料金体系の見直し等で利用率向上に取り組んでいく。

【質問】 学区外就学申請による生徒数の大幅減は、学校運営



上支障を来すことも考えられるが見解を伺う。
【答弁】 19年度程度の減少人数なら対応可能な範囲と認識する。児童生徒数等の極端な偏りを助長することのないよう適正範囲で認めていきたい。
【質問】 県が発表した実態状況調査の中間報告による、教職員の勤務実態、学力向上のための授業改善、教職員評価制度等の資質向上策の見解は。
【答弁】 事務量軽減の取り組みや、特別支援教育等の推進のため市費負担教職員の配置等をしている。教職員評価制度は、制度が目指す目的が達成されるよう取り組みたい。

【質問】 一部の親などからの理不尽な要求の現状と対応策は。

【答弁】 18年4月から19年6月までに小学校9校で19人、中学校7校で27人あった。難しい問題は教育委員会全体で学校をサポートしたい。

学校教育

生徒数の大幅減は、学校運営

行財政 安全・安心なまちづくり

公明党 鈴木喜文 議員

行財政

質問 暫定税率堅持のため、本市の取り組みは。

答弁 現時点での暫定税率の維持は必要であると考え、道路特定財源の確保「静岡県緊急大会に、県等とともに主催者の一員として参加した。

質問 三度の市職員の飲酒運転に対する組織の問題と再発防止策等の進捗状況は。

答弁 組織への帰属意識や、お互いの信頼意識等の希薄さも原因の一つではないかと危惧している。市民の信頼回復等のため、市職員がみずから考え、建設的意見を出し行動する組織を立ち上げた。

安全・安心

質問 地域包括支援センターに、市民専用フリーダイヤル



地域包括支援センター

を設置する考えは。

答弁 他の相談機関との関係もあり現時点では考えていない。今後必要があれば、他市の状況等を参考に検討したい。

質問 学校近郊の道路整備の際に、自転車専用通行帯等を設置する考えは。

答弁 磐田西高校前の勾坂新天龍幹線などに、自転車専用通行帯の設置を検討している。

質問 中国産冷凍食品問題に

ついて、学校給食における市の安全確認と安全通知は、どのような体制でされたか。
答弁 物資委員会で安全性を確認し購入している。市内の学校給食では、これらの製品は使用されていなかった。通知体制は、安全性が確認されるまで使用しないよう、1月31日に県から文書で連絡があり、市は各施設に至急の通知をした。保護者への通知が、2月8日の学校給食センター運営委員会後の配布となったことについては反省している。今後は常に保護者の立場に立った対応をしたい。

市民の暮らしと営業を守る市政を 地域医療の課題と健診の充実策

日本共産党 根津康広 議員

暮らしと営業

質問 道路特定財源は一般財源化し、福祉や医療などに使うべきと思うが見解を。

答弁 現時点での一般財源化や暫定税率の廃止は、一般生活道路等の維持、整備に大きな影響が出てくる可能性がある。必要な地方の道路整備を重点的に行う財源として確保する必要があると考える。

質問 遠州豊田PA周辺開発事業の（仮称）ららぽーと磐田の進出による市内商店街に及ぼす影響と今後の対策は。

答弁 影響は少ないと考える。商店会代表等による連絡会を発足し、広域的に集まった人たちを中心市街地に誘導・回遊させる方法を協議したい。
質問 駅前再開発ビル市営駐車場の今後の利用促進策は。

特別委員会活動報告

市議会では、3つの特別委員会を設置し活動しています。

○行財政改革特別委員会

- (1)2月7日 ・行革の中間報告について
- ・外郭団体改革実行計画について
- (2)2月25日 ・外郭団体及び補助金に関する意見交換
- (3)3月28日 ・報告書(案)について

○医療問題特別委員会

- (1)1月28日 ・南部救急医療機関選定等委員会について
- ・今後の委員会運営について
- (2)2月14日 ・報告書の骨子(案)について
- (3)3月31日 ・南部救急医療機関選定等委員会について
- ・報告書(案)について

○次世代育成・多文化共生特別委員会

- (1)1月15日 ・視察研修(市内小中学校)
- (2)1月28日 ・多文化共生に関する意見交換
- (3)2月25日 ・報告書(案)について
- (4)3月25日 ・報告書(案)について

質問 集客テナントの誘致を

組合に強く働きかける。また、定期利用の導入や初回料金の見直し等を計画していく。

地域医療

質問 南部救急医療機関の設置に向けた現状と公的支援のあり方について伺う。

答弁 南部救急医療機関選定等委員会を設置し、提案を公募して1件の応募があった。3月を目的として、公的支援を検討する。

質問 特定健診の保健指導はどのように

行うのか。

答弁 健診結果から指導が必要な対象者を抽出し、動機づけ支援等の保健指導に結びつけていくように考えている。

質問 市立総合病院と公立森町病院との医療協定の果たす役割と今後の方向性は。

答弁 両病院の連携を強化することで地域医療の質の向上、住民福祉の増進に寄与することを目的としている。県の医療計画との整合性を図る中で、方向性について評価をしたい。



市立総合病院

やさしさ、ふれあい、ささえあいの具体化 安全・安心なまちづくり

無所属 玉田文江 議員

やさしさ

質問 障害者自立支援法により、当事者はもとより、施設が困窮を極めている。施設職員の雇用格差の対策と、こうした制度改善に対して国へ働きかけてほしいがどうか。

答弁 施設職員の給与体系は、比較的抑えられた水準であるという認識はあ

る。しかし、報酬基準で定められた金額なので、収入に応じた職員配置などについて、自助努力もしていたらどうかと考



消防団

えている。運営が非常に厳しくなっているという認識はある。障害者自立支援法の枠組み等に問題点があるのではないかと思っており、全国市長会等を通じ制度改善を国に働きかけている。

質問 市職員の新人研修を、民間を含む障害者施設で行うことについて、前向きに検討しては。

答弁 新規採用職員研修の場

の一つとしてとらえ、研修内容等を受け入れ側と協議して

いきたい。

安全・安心

質問 消防団員確保策として、協力事業所表示制度の検討をしていると聞か

れているが現状は。

答弁 現在、準備を進めており、20年度中には必要

な要綱等を制定していきたい。

質問 医薬分業において、かかりつけ医と同様に、かかりつけ薬局を持つことの啓発・推進について、現状と今後は

答弁 医薬分業の意義について、広報等で啓発に努めるとともに、保健相談や健診等の場でもさらに啓発していくよう努力したい。

質問 公的施設に障害者施設製品の販売所等を設置しては。

答弁 施設の再配置や再利用、新施設設置の際にも、製品が販売できるような場所の確保

◎森林を守り林業関連産業政策の推進と林野事業の健全化を求める意見書(要旨)

(内閣総理・財務・外務・経済産業・環境・農林水産大臣、林野庁長官、衆議院・参議院議長あて)

日本の森林・林業・木材関連産業は、木材価格が長期低迷する中で、林業の採算性は悪化し、適切な森林の育成・整備が停滞する現状にある。一方、自然・生活環境の保全など、国民の期待と要請は年々増加している。

これを受け、政府は、2007年から330万haの間伐を実施するとしているが、予算措置が不透明であることなどから、実行体制の不備が危惧される。

よって、国におかれては、次の事項について、必要な対策を講ずるよう強く要望する。

- 1 地球規模での環境保全への対策を推進し、地球温暖化防止における森林吸収源対策の財源を確保すること。
- 2 森林・林業基本計画に基づく森林の整備・保全、地域材利用対策の推進と、木材の生産・加工・流通体制の整備、林業労働力の確保に向けた諸施策を確立すること。
- 3 国有林野については、安全・安心な国土基盤の形成と地域振興に資する管理体制の確保を図り、国民の共有財産である国有林の持続可能な森林管理と技術者の育成確保を、国が責任を持って図ること。

◎輸入食品及び農産物の安全対策及び検査体制の抜本的見直しを求める意見書(要旨)

(内閣総理・内閣府特命担当(食品安全)・厚生労働大臣、衆議院・参議院議長あて)

中国製の冷凍餃子による中毒事件は、輸入食品を原因とした未曾有の事件となり、消費者の不安が増大している。

この事件の背景には、食料の61%を輸入に依存している日本の検査体制等の脆弱さがあり、国の責任は重大である。

多くの国民が不安を募らせ、真相の解明と事件の全容の公表を求めている。

よって、国におかれては、輸入食品及び農産物の安全対策及び検査体制を抜本的に見直し、次の

- 1 輸入食品及び農産物の検査体制を強化すること。
- 2 輸入業者及び販売業者に対する指導監督を強化すること。
- 3 加工冷凍食品の表示を改善すること。
- 4 国内での加工食品及び農産物の生産拡大並びに食料自給率を向上させること。

◎道路整備財源の確保に関する意見書(要旨)

(内閣総理・総務・財務・国土交通大臣、衆議院・参議院議長あて)

道路は、教育、医療、福祉など地域住民の豊かな生活の実現と活力ある地域づくりのため、最も基本的な社会資本であり、その整備促進には大きな期待が寄せられている。

こうした中、本市では、真に豊かで活力に満ちた社会を実現するための道路整備を計画的に推進し、平成20年度当初予算においても、必要な予算計上を行っている。

道路財源の確保は、新設はもとより、着工中の

事業の継続も含め、道路整備の促進を図る上で必要不可欠なものであり、その有無は、教育や福祉を含む本市の市政全般に大きな影響を与えることになる。

よって、国においては、地方行政の遂行に遅滞が生じないよう、地方における道路整備の実情や意見を十分把握し、道路整備に必要な財源を確保することを強く要望する。

審議結果一覧表

■全会一致により可決・承認・同意された議案

- (1) 19年度一般会計補正予算（第5号）
- (2) " 公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- (3) " 駐車場事業特別会計補正予算（第1号）
- (4) 静岡地方税滞納整理機構を組織する地方公共団体の数の減少について
- (5) 静岡県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について
- (6) 専決処分の報告及び承認を求めることについて
- (7) 20年度磐田市外1組合公平委員会特別会計予算
- (8) " 土地取得事業特別会計予算
- (9) " 老人保健特別会計予算
- (10) " 介護保険事業特別会計予算
- (11) " 農業集落排水事業特別会計予算
- (12) " 公共下水道事業特別会計予算
- (13) " 駐車場事業特別会計予算
- (14) " 広瀬財産区特別会計予算
- (15) " 岩室財産区特別会計予算
- (16) " 虫生財産区特別会計予算
- (17) " 万瀬財産区特別会計予算
- (18) " 水道事業会計予算
- (19) " 病院事業会計予算
- (20) 職員の自己啓発等休業に関する条例の制定
- (21) 市議会議員及び市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (22) 部設置条例の一部を改正する条例の制定
- (23) 職員定数条例の一部を改正する条例の制定
- (24) 職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例の制定
- (25) 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (26) 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (27) 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (28) 企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (29) 語学指導を行う外国青年の給料等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (30) 国民健康保険給付等支払準備基金条例の一部を改正する条例の制定
- (31) 国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定
- (32) 介護保険条例の一部を改正する条例の制定

- (33) 豊田南保育園条例を廃止する条例の制定
- (34) 磐田都市計画遠州豊田PA周辺地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定
- (35) 駐車場条例の一部を改正する条例の制定
- (36) 学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- (37) 病院事業管理者の給与等に関する条例の制定
- (38) 病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定
- (39) 病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (40) 養護老人ホームとよおか管理組合規約の変更
- (41) 財産の譲渡
- (42) 平成19年度磐田市新ごみ処理施設建設工事請負契約の締結
- (43) 市道の路線認定
- (44) 市道の路線変更
- (45) 市道の路線廃止
- (46) 市長等の給料の特例に関する条例の制定
- (47) 夜間急患センター条例及び市立総合病院の使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定
- (48) 人権擁護委員の候補者推薦の意見
- (49) 三度に及ぶ職員の酒気帯び運転に関する決議
- (50) 森林を守り林業関連産業政策の推進と林野事業の健全化を求める意見書
- (51) 輸入食品及び農産物の安全対策及び検査体制の抜本的見直しを求める意見書
- (52) 道路整備財源の確保に関する意見書

■賛成多数により可決された議案

- (1) 20年度一般会計予算
- (2) " 国民健康保険事業特別会計予算
- (3) " 後期高齢者医療事業特別会計予算
- (4) 後期高齢者医療に関する条例の制定
- (5) 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

※ これら賛成多数により可決された議案は、すべて討論が行われ、表決結果は、いずれも賛成30（公・無）、反対3（共）でした。

そのほか本会議で議題となった案件

- (1) 予算特別委員会の設置・付託、委員の選任
- (2) 市議会議員の派遣

本会議・委員会を傍聴してみませんか

市政の様子を知るには、何といたっても議会を傍聴することが一番です。あなたが貴重な一票を投じた議員の発言や活動を直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。

傍聴を希望する方は、傍聴したい本会議または常任委員会等の当日、受付（本庁舎5階議会議務局内）で住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取ってから、本庁舎6階の議場または委員会室にお入りください。団体の場合は、代表の方が手続きをしていただければ結構です。

政治家の寄附等は禁止されています

政治家（候補者・候補者となろうとする者・現に公職にある者）は、公職選挙法により選挙区内の人に対して寄附（政党や親族に対するものは除く）をしたり、あいさつ状（答礼のための自筆によるものは除く）を出したりすることは禁止されています。

したがって、政治家は、選挙区内の人に対して、御仏前、祭りの祝儀などを出すことはできませんので、ご理解をお願いいたします。

5月臨時会の予定

日程は変更する場合がありますので、事前に議会議務局（電話0538-37-4822）までお問い合わせください。

5月14日 本会議（議案の上程、説明・質疑）

常任委員会

21日 常任委員会（審査予備日）

15日 本会議（議案の採決等）

※ いずれも午前10時から